

北海道釧路市の「ユアサ商事釧路川ソーラーパーク」が発電開始
～国内2か所目のテストプラントとして、積雪・寒冷地での発電データを分析・評価～

ユアサ商事株式会社（本社：東京都中央区、社長：佐藤悦郎、以下「ユアサ商事」）が、北海道釧路市内で建設中の大規模太陽光発電所「ユアサ商事釧路川ソーラーパーク」がこのほど竣工し、2014年7月1日より運転を開始いたしました。

本発電所は、同市内の自社所有地約1万6,500㎡に設置し、最大出力規模が約810kW、年間予想発電量が約96万kWh（一般家庭約260世帯分の年間使用電力量に相当する規模）となります。自社所有地を活用した太陽光発電施設のテストプラントとしては2013年7月よりテストプラントとして運転中の「ユアサ商事平生メガソーラーパーク」（山口県平生町、出力規模約1,200kW）に続き2か所目となります。本発電所で発電した電力は再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用し、全量を北海道電力に売電いたします。

「ユアサ商事釧路川ソーラーパーク」の特長

本発電所は当社が積雪・寒冷地に再生可能エネルギーを普及させていくためのテストプラントとして建設されました。以下の3点を分析・評価し、お客様への有益な提案に繋げてまいります。

- ① 積雪・寒冷地における太陽光発電モジュールやシステム機器の経年変化と影響調査
- ② 2種類のモジュール（単結晶・CIS）の実発電量の調査
- ③ 地盤対策として採用した工法・資材（※鋼製杭工法、※2防草資材）の効果検証

※1 鋼製杭工法：コンクリート基礎を採用できない軟弱地盤帯（湿地帯）にて鋼製杭を採用しています。

※2 防草資材：地盤補強と防草対策のため砕石と再生骨材（リサイクル資材）を敷き詰めています。



2種類のモジュール（単結晶・CIS）の実発電量テストを行います。



鋼製杭と砕石・再生骨材による地盤対策の効果を検証します。

事業主・土地所有者	ユアサ商事株式会社
所在地	北海道釧路市材木町
敷地面積	約1万6,500㎡
出力規模	約810kW（モジュール枚数約4,400枚）
年間予想発電量（初年度）	約96.5万kWh/年 一般家庭約260世帯分の年間使用電力量に相当
発電開始	2014年7月1日
太陽電池モジュール	東芝製（単結晶）、ソーラーフロンティア製（CIS化合物）
設計・施工・保守管理	ユアサクオビス株式会社

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL:03-3665-6789 E-mail:souki@yuasa.co.jp